

Oracle Direct Seminar



ORACLE®

試験対策ポイント解説 「Silver DBA11g」

日本オラクル株式会社

Oracle Direct



アジェンダ

➡ ORACLE MASTER Oracle Database 11g 概要

- 「 Silver DBA 11g 」試験紹介
- ポイント解説

無償技術サービスOracle **Direct Concierge**

- SQL Serverからの移行アセスメント
 - MySQLからの移行相談
 - PostgreSQLからの移行相談
 - Accessからの移行アセスメント
- Oracle Database バージョンアップ支援
- Oracle Developer/2000 Webアップグレード相談
 - パフォーマンス・クリニック
 - Oracle Database 構成相談
- Oracle Database 高可用性診断
 - システム連携アセスメント
 - システムセキュリティ診断
 - 簡易業務診断
 - メインフレーム資産活用

<http://www.oracle.com/lang/jp/direct/services.html>

ORACLE

アジェンダ

- ORACLE MASTER Oracle Database 11g 概要
- ▶ • 「Silver DBA11g」試験紹介
- ポイント解説

無償技術サービスOracle Direct Concierge

- SQL Serverからの移行アセスメント
 - MySQLからの移行相談
 - PostgreSQLからの移行相談
 - Accessからの移行アセスメント
- Oracle Database バージョンアップ支援
- Oracle Developer/2000 Webアップグレード相談
 - パフォーマンス・クリニック
 - Oracle Database 構成相談
- Oracle Database 高可用性診断
 - システム連携アセスメント
 - システムセキュリティ診断
 - 簡易業務診断
 - メインフレーム資産活用

<http://www.oracle.com/lang/jp/direct/services.html>

ORACLE

Silver DBA11g試験概要

- インストールや環境構築、バックアップリカバリなど、大規模データベースの管理者として必要な知識を持つ技術者の認定資格
- 本資格の取得と同時に、Oracle Certified Associate (OCA)として世界的に認定
- 試験概要(2010年3月現在)
 - 試験時間 : 90分
 - 出題数 : 65問
 - 合格ライン : 66%

Silver DBA11g試験範囲

- Oracleソフトウェアのインストールおよびデータベースの作成
- データベースへのアクセス
- データベースの制御
- 記憶域の構造
- ユーザーおよびセキュリティの管理
- スキーマ・オブジェクト、PL/SQLオブジェクトの管理
- ネットワーク環境の構成
- パフォーマンスの監視と予防的メンテナンス
- UNDOの管理
- バックアップおよびリカバリの実行
- ロック競合の監視と解決

アジェンダ

- ORACLE MASTER Oracle Database 11g 概要
- 「 Silver DBA11g 」試験紹介

ポイント解説

無償技術サービスOracle **Direct Concierge**

- SQL Serverからの移行アセスメント
 - MySQLからの移行相談
 - PostgreSQLからの移行相談
 - Accessからの移行アセスメント
- Oracle Database バージョンアップ支援
- Oracle Developer/2000 Webアップグレード相談
 - パフォーマンス・クリニック
 - Oracle Database 構成相談
- Oracle Database 高可用性診断
 - システム連携アセスメント
 - システムセキュリティ診断
 - 簡易業務診断
 - メインフレーム資産活用

<http://www.oracle.com/lang/jp/direct/services.html>

ORACLE

Silver DBA11g試験範囲

- Oracleソフトウェアのインストールおよびデータベースの作成
- データベースへのアクセス
- データベースの制御
- 記憶域の構造
- ユーザーおよびセキュリティの管理
- スキーマ・オブジェクト、PL/SQLオブジェクトの管理
- ネットワーク環境の構成
- パフォーマンスの監視と予防的メンテナンス
- UNDOの管理
- バックアップおよびリカバリの実行
- ロック競合の監視と解決

データベースの起動および停止

データベース・インスタンス: orcl >

起動/停止: ホストとターゲット・データベース

データベースのステータスを変更するには、次の資格証

ホスト資格証明

OSユーザー名とパスワードを指定してターゲット・

* ユーザー名 oracle

* パスワード *****

データベース資格証明

ターゲット・データベースの資格証明を指定してください。

OSの認証を使用するには、ユーザー名とパスワードの各フィールドを空白にしておいてください。

* ユーザー名 sys

* パスワード *****

データベース orcl

* 接続モード SYSDBA

☒ 優先資格証明と

データベースのステータスを変更するに

起動/停止: 確認

現在のステータス 停止

操作 openモードでデータベースを起動

初期化パラメータ デフォルト

この操作を実行しますか。

SQL表示 拡張オプション いいえ はい

または

起動/停止: 確認

現在のステータス 開く

操作 停止即時

この操作を実行しますか。

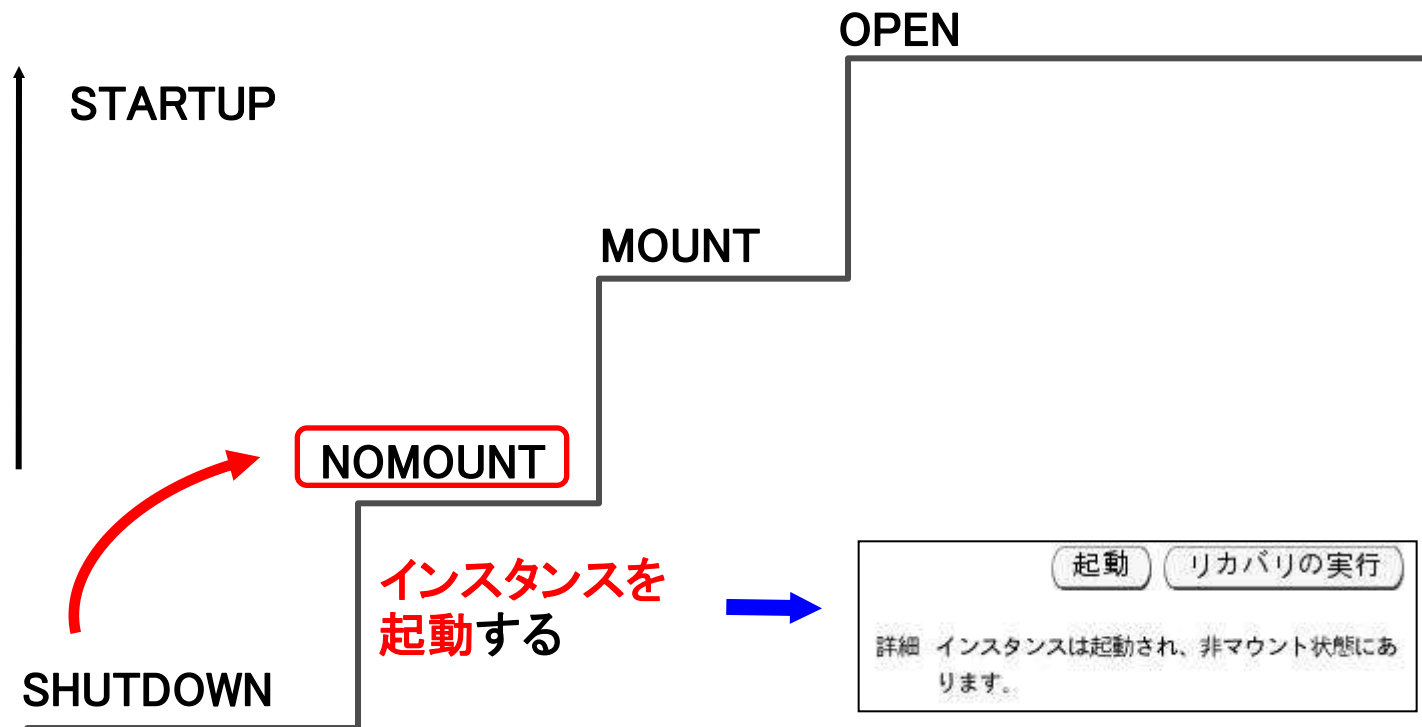
SQL表示 拡張オプション いいえ はい

Oracle Databaseインスタンスの起動

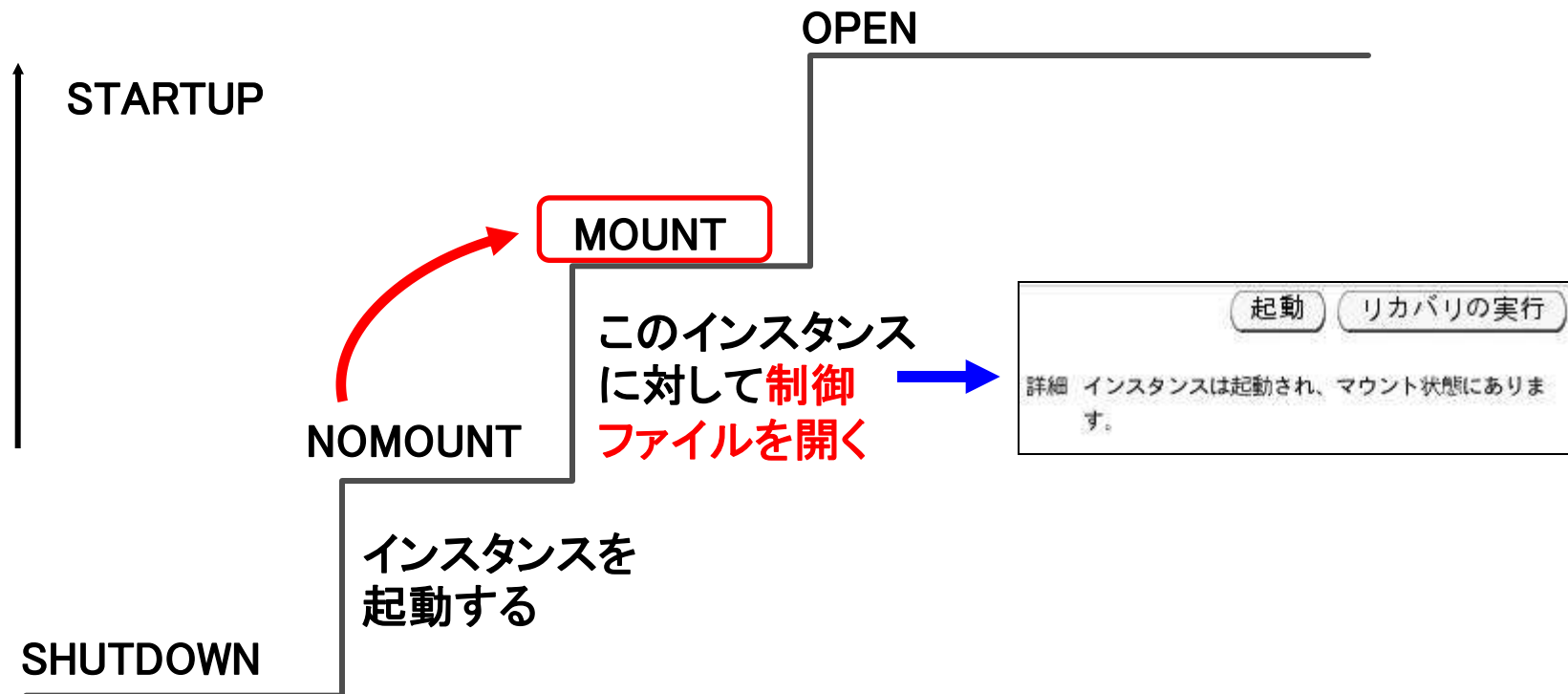
The screenshot illustrates the process of starting an Oracle Database instance through the Oracle Enterprise Manager (OEM) console. It is divided into three main sections connected by arrows:

- データベース・インスタンス (Database Instance):** This top section displays the instance's status as '停止中' (Stopped). It lists the host as 'cdcjp09.cn.oracle.com', port as '1521', SID as 'orcl', and the Oracle home path. A red arrow points to the '起動' (Start) button, which is also highlighted with a red box. A secondary button 'リカパリの実行' (Execute Recovery) is visible.
- 起動/停止:確認 (Start/Stop: Confirmation):** This middle dialog box appears after clicking '起動'. It shows the current status as '停止' (Stopped) and the operation as 'openモードでデータベースを起動' (Start database in open mode). It asks for confirmation to execute the operation. The 'はい' (Yes) button is highlighted with a red box, while the '拡張オプション' (Advanced Options) button is highlighted with a blue box.
- 起動モード (Start Mode):** This bottom section, reached via a blue arrow from the '拡張オプション' button, shows a list of start modes. The 'データベースのオープン' (Open the database) option is selected with a radio button.

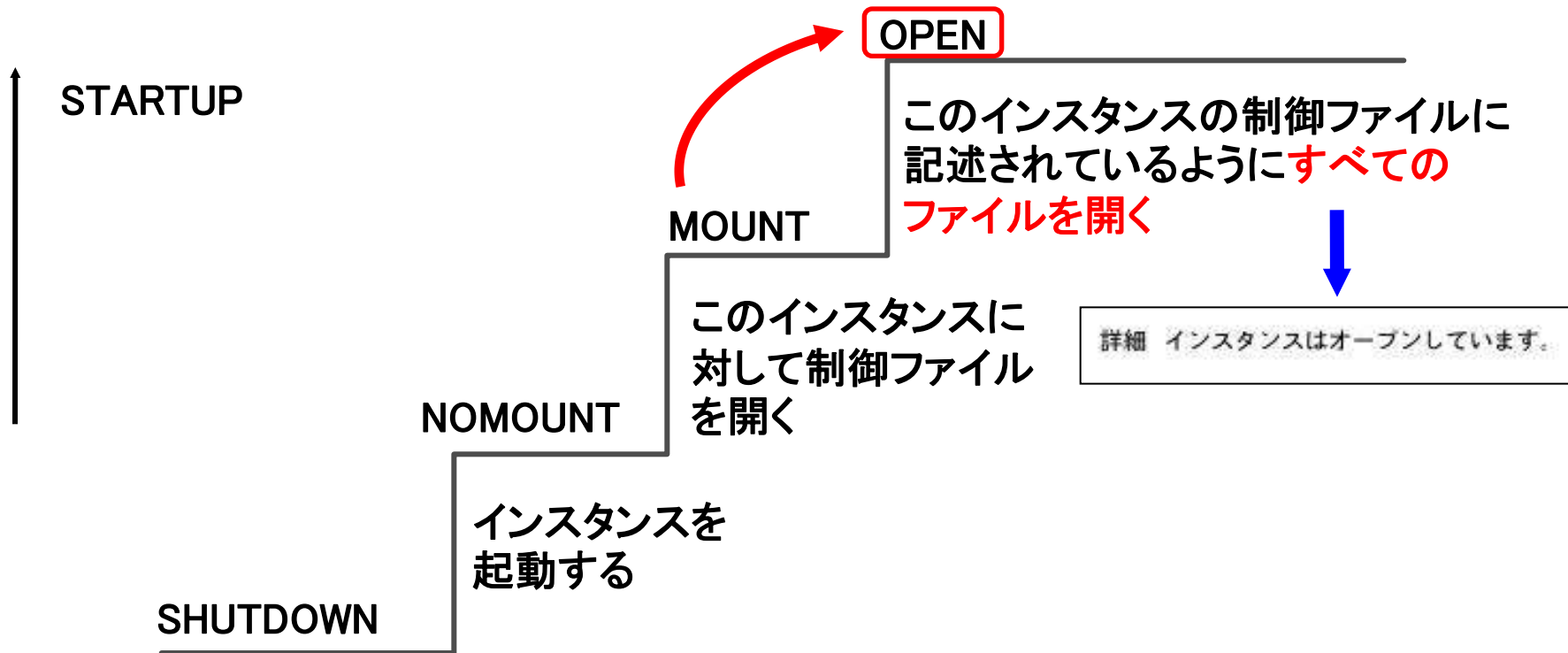
Oracle Databaseインスタンスの起動: **NOMOUNT**



Oracle Databaseインスタンスの起動: MOUNT



Oracle Databaseインスタンスの起動: **OPEN**



Oracle Databaseインスタンスの停止

一般

 **停止** ブラックアウト

ステータス [稼働中](#)

稼働開始 2007/09/21 15時39分45秒 JST

インスタンス名 **orcl**

バージョン 11.1.0.6.0

ホスト [cdcjp09.cn.oracle.com](#)

リスナー [LISTENER_cdcjp09.cn.oracle.com](#)

 **起動/停止:確認**

現在のステータス [開く](#)

操作 [停止即時](#)

この操作を実行しますか。

[SQL表示](#) **[拡張オプション](#)** [いいえ](#) [はい](#)

起動/停止:高度な停止オプション

停止モードを指定してください

[標準](#) [セッションの参照](#)

 現在接続しているすべてのユーザーがデータベースから切断されるまで待機

[トランザクション](#)

トランザクションが完了した後、接続されているすべてのユーザーを切断

[即時](#)

アクティブなトランザクションをロールバックして、接続しているすべてのユーザーを切断

[中断](#)

データベース・インスタンスの異常終了によりすぐに停止

データベースの停止モード

起動/停止: 高度な停止オプション

停止モードを指定してください

☒ 標準 セッションの参照

△ 現在接続しているすべてのユーザーがデータベースから切断されるまで待機

☐ トランザクション

トランザクションが完了した後、接続されているすべてのユーザーを切断

☒ 即時

アクティブなトランザクションをロールバックして、接続しているすべてのユーザーを切断

☐ 中断

データベース・インスタンスの異常終了によりすぐに停止

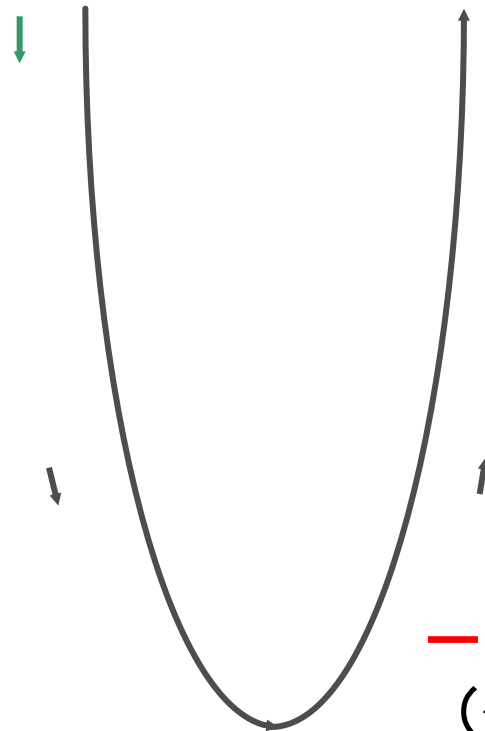
停止モード	中断	即時	トランザクション	標準
新規接続を許可する	しない	しない	しない	しない
現行のセッションが終了するまで待機する	しない	しない	しない	する
現行のトランザクションが終了するまで待機する	しない	しない	する	する
チェックポイントを強制実行し、ファイルを閉じる	しない	する	する	する

ORACLE

停止モード (標準、トランザクション、即時)

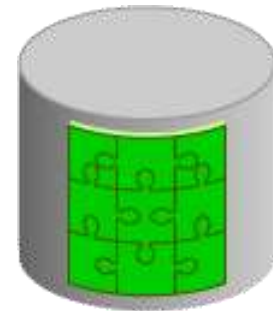
- 停止実行時:

1. コミットされていない変更が**ロールバック**される (即時の場合)
2. データ・ファイルにデータベース・バッファ・キャッシュが**書き込まれる**
3. リソースが**解放**される



- 起動実行時:

- インスタンスのリカバリは**不要**



一貫性のあるデータベース
(クリーン・データベース)

停止モード(中断)

停止実行時:

1. 変更されたバッファのコンテンツは
データ・ファイルに
書き込まれない
2. コミットされていない
変更は**ロールバック** **さ**
れない



起動実行時:

1. インスタンスのリカバリ
が**必要**
2. オンライン**REDO** **ログ**
ファイルを使用して、変
更が再適用される
3. **UNDO** **セグメント**を
使用して、コミットされて
いない変更がロールバ
ックされる
4. リソースが解放される

一貫性のないデータベース
(ダーティなデータベース)

問題1

◆ データベースを中断 (ABORT) モード停止すると何が起こりますか。2つ選択してください。

- a. 変更されたデータベース・バッファキャッシュの内容はデータ・ファイルに書込まれない
- b. データベース・ファイルが同期する
- c. データベースは停止するが、インスタンスは起動したままである
- d. データベースは次回起動時に、自動的にメディアリカバリが実行される
- e. コミットされていない変更は、ロールバックされない

解答1

◆ データベースを中断 (ABORT) モード停止すると何が起こりますか。2つ選択してください。

- a. 変更されたデータベース・バッファキャッシュの内容はデータ・ファイルに書込まれない
- b. データベース・ファイルが同期する
- c. データベースは停止するが、インスタンスは起動したままである
- d. データベースは次回起動時に、自動的にメディアリカバリが実行される
- e. コミットされていない変更は、ロールバックされない

問題2

◆ データベースのMOUNT状態で実行できない作業を2つ選択してください。

- a. データ・ファイル名の変更
- b. REDOログ・ファイルの追加
- c. データベース名の変更
- d. 制御ファイルの再作成

解答2

◆ データベースのMOUNT状態で実行できない作業を2つ選択してください。

- a. データ・ファイル名の変更
- b. REDOログ・ファイルの追加
- c. データベース名の変更
- d. 制御ファイルの再作成

問題3

◆ インスタンスの停止モードのうち、チェックポイントが発生しないものをすべて選択してください。

- a. 標準 (NORMAL)
- b. トランザクション (TRANSACTIONAL)
- c. 即時 (IMMEDIATE)
- d. 中断 (ABORT)

解答3

◆ インスタンスの停止モードのうち、チェックポイントが発生しないものをすべて選択してください。

- a. 標準 (NORMAL)
- b. トランザクション (TRANSACTIONAL)
- c. 即時 (IMMEDIATE)
- d. 中断 (ABORT)

Silver DBA11g試験範囲

- Oracleソフトウェアのインストールおよびデータベースの作成
- データベースへのアクセス
- データベースの制御
- 記憶域の構造
- ユーザーおよびセキュリティの管理
- スキーマ・オブジェクト、PL/SQLオブジェクトの管理
- ネットワーク環境の構成
- パフォーマンスの監視と予防的メンテナンス
- UNDOの管理
- バックアップおよびリカバリの実行
- ロック競合の監視と解決

メモリー・サイズ管理

- メモリー (SGAおよびPGA) サイズの管理方法

- 自動メモリー管理 (推奨):



- SGAとPGAの合計値を指定することにより、Oracleデータベースが、SGAおよびPGAのサイズを自動的に決定します。

- 自動共有メモリー管理および自動PGAメモリー管理:

- SGAのターゲット・サイズとPGAのターゲット・サイズを指定することにより、Oracleデータベースが、SGAおよびPGAのサイズを自動的に決定します。

- 手動共有メモリー管理:

- データベース管理者が、SGAを構成する各メモリーのサイズを初期化パラメータに設定することで、SGA全体のサイズを管理します。

自動メモリー管理の有効化

- Oracleデータベースが、SGAおよびPGAを自動的に管理
- インスタンスで使用するメモリーの合計値を指定すると、Oracleデータベースが、SGAおよびPGAに割り当てるメモリーの量を動的に管理

ORACLE Enterprise Manager 11g
Database Control

データベース・インスタンス: orcl > アドバイザ・セントラル >
メモリー・アドバイザ

自動メモリー管理が有効な場合、データベースは最適なメモリー配布を自動的に設定します。

自動メモリー管理 無効

「有効化」をクリックすると、自動メモリー管理が有効になります。

データベース・インスタンス: orcl > アドバイザ・セントラル > メモリー・アドバイザ >

自動メモリー管理有効化

自動メモリー管理が有効な場合、データベースは最適なメモリー配布を自動的に設定します。メモリー配布はワークロードのメモリー・サイズはデータベースが割当て可能な最大メモリーを指定するもので、自動メモリー管理を使用するために設定が必要です。

現在のメモリー使用量(PGA+SGA) (MB) 400

最大メモリー・サイズ MB

自動メモリー管理の合計メモリー・サイズ MB

ORACLE

自動メモリー管理(メモリーアドバイザの使用)

11g

メモリー・アドバイザ

ページ・リフレッシュ 2007/09/26 15:02:33 JST リフレッシュ

SQL表示 元に戻す 適用

自動メモリー管理が有効な場合、データベースは最適なメモリー配布を自動的に設定します。メモリー配布はワークロードの変更に反映するため時に応じて変更されます。

自動メモリー管理 有効 無効化

合計メモリー・サイズ 320 MB アドバイス

最大メモリー・サイズ 320 MB

この値への変更を有効にするには、データベースを再起動する必要があります。

メモリー・サイズ・アドバイザ

DB時間の改善率(%)

合計メモリー・サイズ(MB)

- 様々なサイズの合計メモリーのDB時間の改善率
- * 合計メモリー・サイズ
- 最大メモリー・サイズ

合計メモリー・サイズ(MB) 400

グラフ内の曲線をクリックすると、新しい値を設定できます。合計メモリー・サイズは最大メモリー・サイズより大きくしないでください。最初に(親ページから)最大メモリー・サイズを変更し、最大メモリー・サイズまで合計メモリー値を選択します。

取消 OK

ORACLE

メモリー・サイズ管理

- メモリー (SGA および PGA) サイズの管理方法

- 自動メモリー管理 (推奨):



- SGA と PGA の合計値を指定することにより、Oracle データベースが、SGA および PGA のサイズを自動的に決定します。

- 自動共有メモリー管理 および 自動PGAメモリー管理:

- SGA のターゲット・サイズ と PGA のターゲット・サイズを指定することにより、Oracle データベースが、SGA および PGA のサイズを自動的に決定します。

- 手動共有メモリー管理:

- データベース管理者が、SGA を構成する各メモリーのサイズを初期化パラメータに設定することで、SGA 全体のサイズを管理します。

自動共有メモリー管理の有効化

- SGAのターゲット・サイズとPGAのターゲット・サイズを指定することにより、Oracleデータベースが、SGAおよびPGAのサイズを自動的に決定します。

SGA PGA

システム・グローバル領域(SGA)は、1つのOracleデータベースのデータおよび制御情報を含む、共有メモリー構造のグループです。SGAは、Oracleデータベースに割り当てられます。

自動共有メモリー管理 無効 有効化

共有プール 180 MB アドバイス

バッファ・キャッシュ 72 MB アドバイス

ラージ・プール 4 MB

Javaプール 16 MB

その他(MB) 7

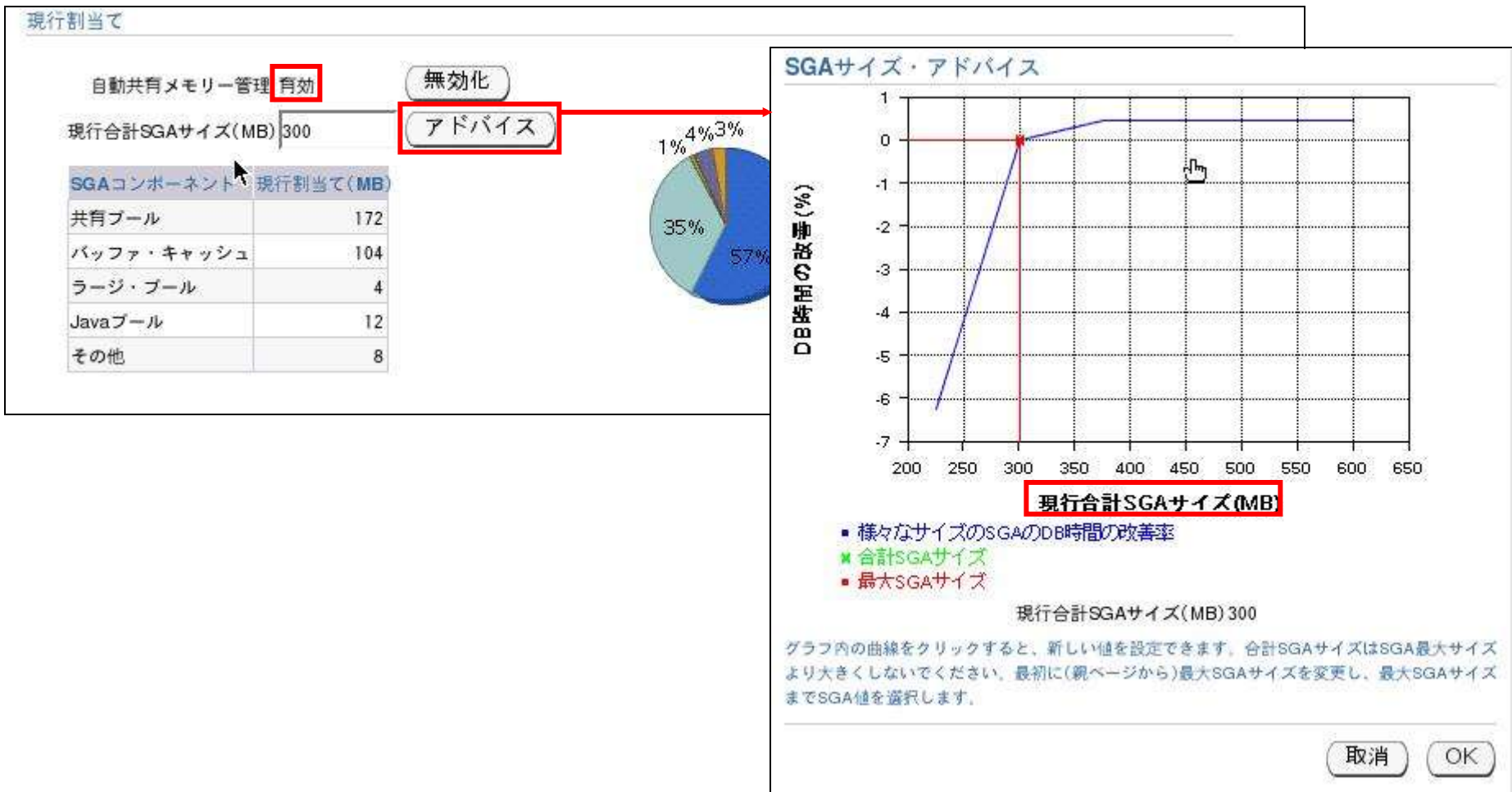
SGA合計 (MB) 207 計算

「有効化」をクリックすると、自動共有メモリー管理が有効になります。

共有メモリー構造	割合
共有プール	86.9%
バッファ・キャッシュ	0%
ラージ・プール	1.9%
Javaプール	7.7%
その他	3.4%

自動共有メモリー管理(メモリーアドバイザの使用)

- メモリー・アドバイザを使用すると、SGAの合計サイズに最適な値を設定することができます。



ORACLE

自動メモリー管理：無効 (各共有メモリーの手動設定)

SGA PGA

システム・グローバル領域(SGA)は、1つのOracleデータベースのデータおよび制御情報を含む、共有メモリー構造のグループです。SGAは、Oracleデータベース・インスタンスの起動時にメモリーに割り当てられます。

自動共有メモリー管理 **無効** 有効化

共有ブール 128 MB アドバイス

バッファ・キャッシュ 20 MB **アドバイス**

ラージ・ブール 4 MB

Javaブール 28 MB

その他(MB) 7

SGA合計 (MB) 187 計算

バッファ・キャッシュ・サイズ・アドバイス

物理読み込みの相対的な変化

キャッシュ・サイズ(MB)

- 様々なキャッシュ・サイズでの物理読み込みの変化
- 現在のキャッシュ・サイズ

キャッシュ・サイズ(MB) 20

☑ ヒント グラフ内の曲線をクリックすると、新しい値を設定できます。

取消 OK

Silver DBA11g試験範囲

- Oracleソフトウェアのインストールおよびデータベースの作成
- データベースへのアクセス
- データベースの制御
- 記憶域の構造
- ユーザーおよびセキュリティの管理
- スキーマ・オブジェクト、PL/SQLオブジェクトの管理
- ネットワーク環境の構成
- パフォーマンスの監視と予防的メンテナンス
- UNDOの管理
- バックアップおよびリカバリの実行
- ロック競合の監視と解決

バックアップ/リカバリのコンポーネント

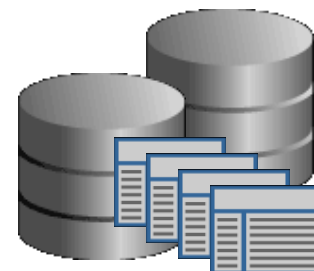
- **制御ファイル:**
 - データベース構造を保持（少なくとも2重化を行う）
- **REDOログ・ファイル:**
 - 更新履歴を保持（少なくとも2重化を行う）
- **データ・ファイル:** ユーザー・データ
- **アーカイブ・ログ・ファイル:**
 - REDOログの過去の履歴（メディア障害からの復旧に必要）
→ 取得するには、ARCHIVELOGモードへの切替えが必要

マウント状態で **ALTER DATABASE ARCHIVELOG;**
または
Enterprise Managerの[リカバリ設定の構成]で設定

メディア・リカバリ

データベースは現在NOARCHIVELOGモードで実行されています。データベースをARCHIVELOGモードに切り替える必要があります。データベースが破損するとデータが失われます。

☒ ARCHIVELOGモード*



ORACLE

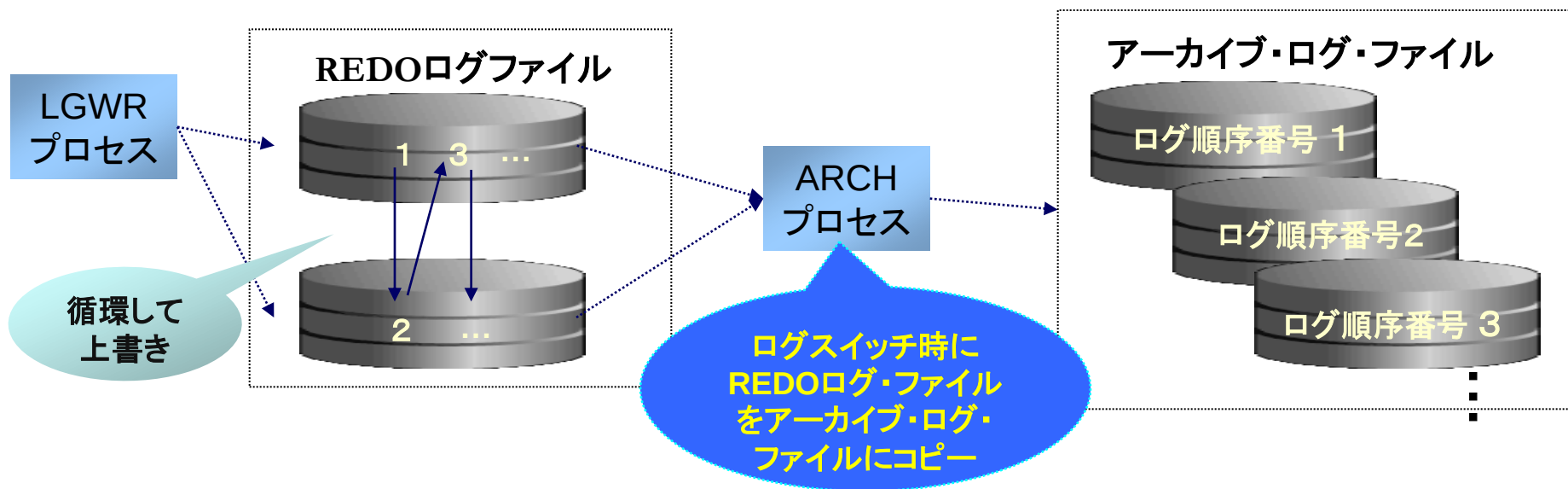
ARCHIVELOGモードとNOARCHIVELOGモード

- **ARCHIVELOGモード**

- アーカイブ・ログ・ファイルを出力するモード
- 最新状態への**完全なリカバリ**を確実に行うためには必須

- **NOARCHIVELOGモード**

- アーカイブ・ログ・ファイルを出力しないモード
- メディア障害にあった場合、最終バックアップ時までの状態にはリカバリできるが、**完全リカバリの保証ができない**



問題4

◆ データベースは現在NOARCHIVELOGモードで稼動中です。
ARCHIVELOGモードに切替える方法を選択してください。

- a. ALTER DATABASE ARCHIVELOGコマンドを実行
- b. データベースを再起動してからNOMOUNT状態にし、ALTER DATABASE ARCHIVELOGコマンドを実行
- c. データベースを再起動してからMOUNT状態にし、ALTER DATABASE ARCHIVELOGコマンドを実行
- d. データベースを再起動してからOPEN状態にし、ALTER DATABASE ARCHIVELOGコマンドを実行

解答4

◆ データベースは現在NOARCHIVELOGモードで稼動中です。
ARCHIVELOGモードに切替える方法を選択してください。

- a. ALTER DATABASE ARCHIVELOGコマンドを実行
- b. データベースを再起動してからNOMOUNT状態にし、ALTER DATABASE ARCHIVELOGコマンドを実行
- c. データベースを再起動してからMOUNT状態にし、ALTER DATABASE ARCHIVELOGコマンドを実行
- d. データベースを再起動してからOPEN状態にし、ALTER DATABASE ARCHIVELOGコマンドを実行

データベースのバックアップ

- バックアップ対象

データベース全体 / データベースの1部分

- バックアップ・モード

- 一貫性バックアップ(オフライン・バックアップ)

- ✓ データベースを正しく**停止**して取得する

- ✓ リストア操作の直後に、データベースをオープンして操作可能

- 非一貫性バックアップ(オンライン・バックアップ)

- ✓ データベースを**停止せず**に取得する

- ✓ リストア操作後に、メディア・リカバリの実行が必要

問題5

◆ NOARCHIVELOGモードで取得するバックアップとして、適切なものは次のどれですか。

- a. オンライン・バックアップ
- b. 増分バックアップ
- c. 部分バックアップ
- d. 一貫性バックアップ

解答5

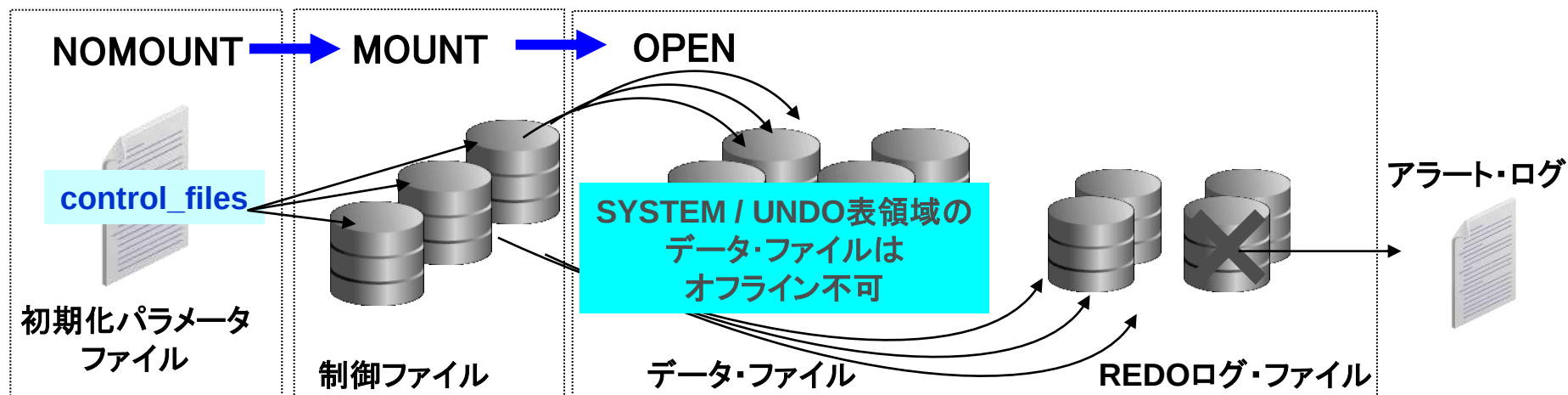
◆ NOARCHIVELOGモードで取得するバックアップとして、適切なものは次のどれですか。

- a. オンライン・バックアップ
- b. 増分バックアップ
- c. 部分バックアップ
- d. 一貫性バックアップ

データベースのオープン

データベースをオープンするための条件:

1. すべての**制御ファイル**が存在し、状態が同期化されている
2. すべての**オンライン・データ・ファイル**が存在し、状態が同期化されている
3. 各**REDOログ・グループ**に正常なメンバーが少なくとも1つ存在する



問題6

◆現在、制御ファイルを3重化していますが、そのうち1つのファイルがアクセス不能になりました。次の説明から正しい文を選択してください。

- a. データベースは再起動可能であるが、破損したファイルに関する情報がアラート・ログに出力される。
- b. インスタンスの再起動時に、破損した制御ファイルが自動でリカバリされる。
- c. バックアップから制御ファイルをリストアし、REDOログを適用するまでインスタンスは再起動不可能である。
- d. 初期化パラメータで指定されたすべての制御ファイルに正常にアクセスできない場合、データベースはマウント不可能である。

解答6

◆ 現在、制御ファイルを3重化していますが、そのうち1つのファイルがアクセス不能になりました。次の説明から正しい文を選択してください。

- a. データベースは再起動可能であるが、破損したファイルに関する情報がアラート・ログに出力される。
- b. インスタンスの再起動時に、破損した制御ファイルが自動でリカバリされる。
- c. バックアップから制御ファイルをリストアし、REDOログを適用するまでインスタンスは再起動不可能である。
- d. 初期化パラメータで指定されたすべての制御ファイルに正常にアクセスできない場合、データベースはマウント不可能である。

チェックリスト

<http://www.oracle.com/global/jp/education/certification/examlist.html>

はじめに 認定パス 認定試験 認定取得者向け サポート

試験申し込みと費用

認定制度

認定試験一覧

試験番号をクリックして詳細をご確認ください。

*1ポートナード認定のコースとなります。詳細は、Oracle PartnerNetwork Japanにてご確認ください。

*2本コースは現在定期開催しておりません。Oracle University (TEL 0120-155-090)までお問い合わせください(平日9:00-12:00および13:00-17:00)。

*3本コースでは弊社サポート サービス本部の発行するCSI (Customer Support ID)をお持ちの方によりのみ開示できる内容を含んでおります。ご参加に出た場合はCSI番号が必須となります。CSIについてはこちらサポート・サービスに関するFAQをご覧ください。

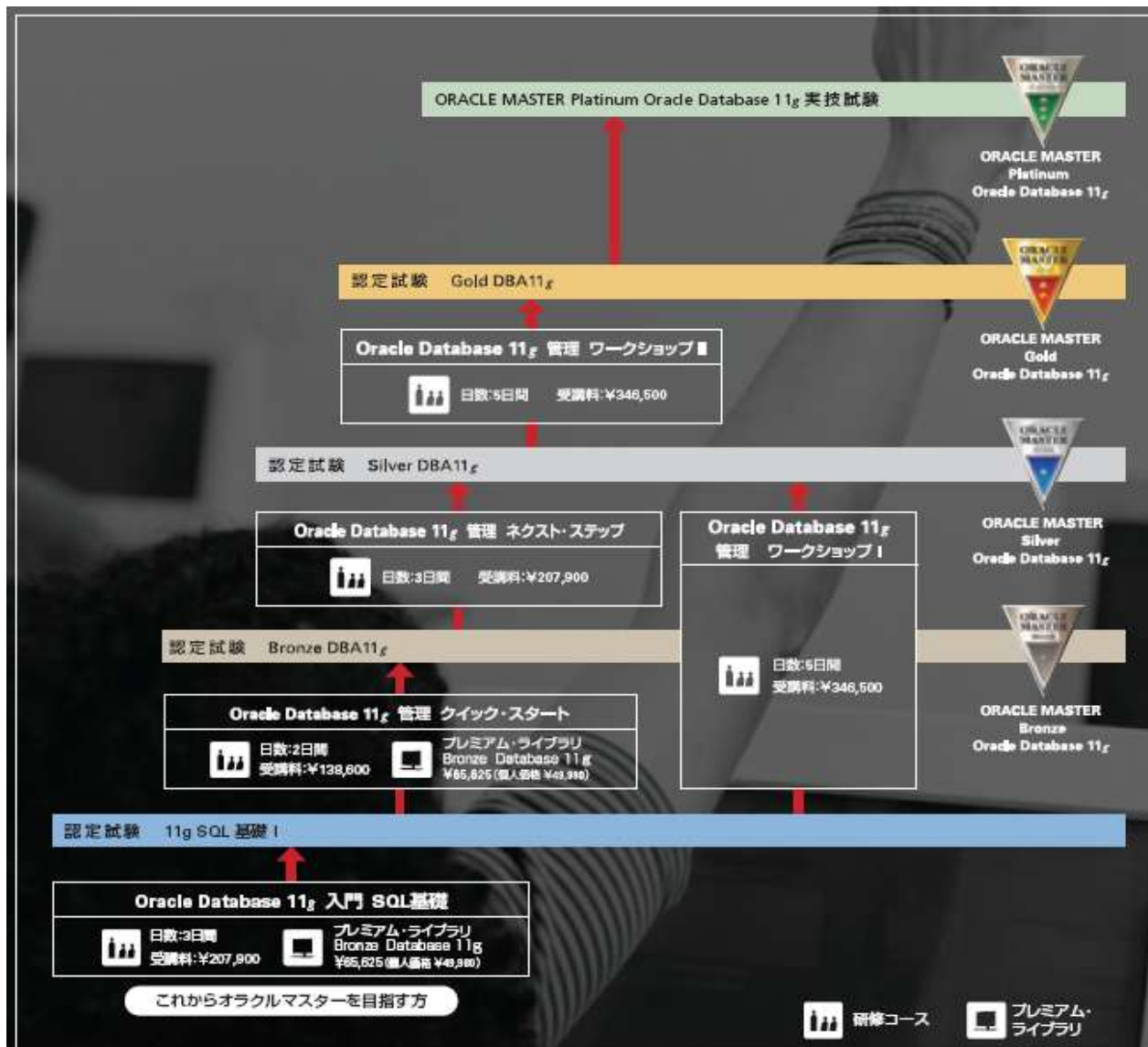
*4このほかにも試験契約への同意時間15分以内が必要です。

*5試験システムの仕様上、変更日が異なる可能性があります。

Database Middleware Applications

Database							
試験番号	試験名	試験内容	試験時間	出題数	合格率	お薦め研修コース	試験申込み
1Z0-011J	SQL	チェックリスト	40分(4)	20	70%	Oracle®入門:SQL編 プレミアム・ライブラリ	🛒
1Z0-012J	Oracle入門	チェックリスト	40分(4)	20	70%	Oracle®入門:データベース編 プレミアム・ライブラリ	🛒
1Z0-017J	Bronze SQL基礎 I	チェックリスト	90分(4)	40	70%	Oracle Database 10g 入門:SQL基礎 I プレミアム・ライブラリ	🛒
1Z0-030J	Oracle®新機能	チェックリスト	90分(4)	53	69%	Oracle®新機能 Part1:可用性とバックアップ ポリリカ(1)	🛒
						Oracle®新機能 Part2:管理とチューニング	
1Z0-031J	Oracle 9i DBA I	チェックリスト	90分(4)	60	73%	Oracle®データベース管理 I:初級	🛒

対応研修コース



ORACLE®

ステップアップにおすすめの研修はこちら

Oracle Database 11g 管理 ワークショップ I

- **受講期間 5日間 定価 ¥346,500(税込)**
- 大規模なデータベースを管理するために必要なインストールから、バックアップ/リカバリまでを習得できます。このコースは、Oracleデータベースのプロフェッショナルとして成功するための第一歩であり、Oracle Database 11gのデータベース管理の基礎を固めることができます。
- コース修了時には、Oracleデータベースのアーキテクチャを理解し、各コンポーネントがどのように動作し、どのように相互作用するのかを理解できるようになります。また、構築したデータベースを適切に管理できるように、パフォーマンスの監視、セキュリティ、ユーザー管理、バックアップ/リカバリも習得できます。豊富なマシン演習を通じて、各トピックの理解を深めることもできます。

【お申込み】 日本オラクル株式会社 Oracle University <http://www.oracle.com/jp/education/>
【お問合せ】 Tel : 0120-155-092

ORACLE

おすすめの研修コース

Oracle Database 11g 管理 クイック・スタート

受講期間 2日間 定価 ¥138,600(税込)

データベース管理者エッセンスをご紹介します。

- Enterprise Managerの操作を通じて、**管理作業**に必要な知識を習得できます。
- Oracle Database **11gに搭載された自己管理機能**についても習得できます。
- これからOracle**データベース管理者**を目指す方や、小中規模のデータベースの管理者を目指す方にお勧めのコースです！

ステップアップにおすすめの研修はこちら

Oracle Database 11g管理 クイック・スタートをご受講済みの方には・・・

Oracle Database 11g 管理 ネクスト・ステップ

- **受講期間 3日間 定価 ¥ 207,900(税込)**

- 小規模から大規模データベース管理者への転身！

「Oracle Database 11g管理 クイック・スタート」コースで習得した管理技術を、より複雑な大規模データベースを管理可能な技術へとステップアップできます。

- コース修了時には、構築したデータベースを適切に管理できるように、パフォーマンスの監視、セキュリティ、ユーザー管理、バックアップ/リカバリ等を習得できます。豊富なマシン演習を通じて、各トピックの理解を深めることもできます。

※「Oracle Database 11g管理 クイック・スタート」(2日間)と「Oracle Database 11g 管理 ネクスト・ステップ」(3日間)の両コースを受講した場合の達成項目は、「Oracle Database 11g 管理 ワークショップ I」(5日間)と同等です。

オンライン研修コース **Oracle University Live Virtual Class**では土曜でもこのコースを受講できます

日程: 11月12日(木)～11月14日(土) ※詳細はこちら

【お申込み】 日本オラクル株式会社 Oracle University <http://www.oracle.com/jp/education/>

【お問合せ】 Tel : 0120-155-092

ORACLE

ORACLE eラーニング・サービス
プレミアム・ライブラリ

各コース ¥57,015／180日間

個人購入限定版 ¥49,980／180日間
(税込価格)

11g

<http://www.oracle.com/global/jp/education/plibrary/>

→ 無料体験・購入はこちら

ORACLE

ORACLE MASTERの情報収集に！

Oracle University eNews Letter

毎月
第1土曜日
配信

Oracle Universityが世界に通じる技術と資格の最新情報をお届けします！



注目の研修コースや、認定資格制度などスキルアップに役立つ情報を豊富に掲載。

さらに、お得なキャンペーン情報、プレゼントなどの特典もお楽しみ頂けます。

- イベント、お得なキャンペーン情報
- オラクル製品の最新情報や対応研修コースのご紹介
- ORACLE MASTERやその他認定資格の最新情報
- 学習効果の高いORACLEのeラーニング情報
- 解説付き模擬試験「Try! ORACLE MASTER」
- Oracle University特製グッズプレゼント

お申込方法

<http://www.oracle.com/global/jp/education/promotion/enewsletter.html>

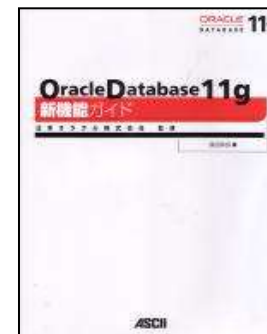
ORACLE

3月に3つダイセミを受講してプレゼントを当てよう

3月開催のダイセミのうち3つ以上受講頂いた皆様の中から素敵なプレゼントが当たるキャンペーンを実施します！



**Oracle Database 11g 新機能ガイド (定価: 3,360円)、
パートナー様ノベルティセットなどが詰まったHappy Bag☆を
10名様にプレゼントいたします！**



必要情報を明記のうえ、下記宛てにメールでご応募ください。セミナーお申し込み時にご登録されている貴社住所宛てに発送させていただきます。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

応募方法



ORD_SEMINAR_JP@ORACLE.COM

タイトル:「春だ！リピータープレゼント応募」

必要情報: 1、ご登録のお名前 2、ご登録の貴社名、部署名

3、受講された3月のダイセミタイトル3つ以上

4、ダイセミに対するご意見、ご検討中の案件情報など

※ご登録情報が正しくない場合はご応募が無効となりますのでご注意ください。

当キャンペーン実施内容は予告なく変更になる可能性があります。

ORACLE

OTN×ダイセミ でスキルアップ!!



- ・技術的な内容について疑問点を解消したい！
- ・一般的なその解決方法などを知りたい！
- ・ 세미나資料など技術コンテンツがほしい！

Oracle Technology Network(OTN)を御活用下さい。

<http://otn.oracle.co.jp/forum/index.jspa?categoryID=2>

技術的な疑問点は、OTN揭示版の
「データベース一般」へ

※OTN揭示版は、基本的にOracleユーザー有志からの回答となるため100%回答があるとは限りません。
ただ、過去の履歴を見ると、質問の大多数に関してなんらかの回答が書き込まれております。

<http://www.oracle.com/technology/global/jp/ondemand/otn-seminar/index.html>

過去の 세미나資料、動画コンテンツはOTNの
「OTNセミナー オンデマンドコンテンツ」へ

※ダイセミ事務局にダイセミ資料を請求頂いても、お受けできない可能性がございますので予めご了承ください。
ダイセミ資料はOTNコンテンツ オン デマンドか、 세미나実施時間内にダウンロード頂くようお願い致します。

ORACLE

OTNセミナー オンデマンド コンテンツ

期間限定にて、ダイセミの人気セミナーを動画配信中!!

ダイセミのライブ感はそのままに、お好きな時間で受講頂けます。

最新のコンテンツ

 エンジニアのための ITIL実践術 再生時間: 60分	 ここからはじめよう Oracle PL/SQL入門 再生時間: 60分	 実践!!高可用システム構築 - RAC基本 再生時間: 60分	 お悩み解決! Oracle のサイジング 再生時間: 60分
--	--	---	---

Database

 今さら聞けない!!?バックアップ・リカバリ入門 再生時間: 60分	 意外と簡単!? Oracle Database 11g - セ 再生時間: 60分	 実践!!バックアップ・リカバリ 再生時間: 60分	 意外と簡単!? Oracle Database 11g - デ 再生時間: 60分
--	--	---	--

>> もっと見る

OTN オンデマンド

検索

※掲載のコンテンツ内容は予告なく変更になる可能性があります。

期間限定での配信コンテンツも含まれております。お早めにダウンロード頂くことをお勧めいたします。

ORACLE

オラクル クルクルキャンペーン

あの**Oracle Database Enterprise Edition**が超おトク!!

おトクな買い方
オラクル5年分

- ライセンス使用期間 を**5年**間に設定
- 初期のライセンスコストがなんと**67%OFF** !
- テクニカル・サポート価格も**53%OFF** !

Oracle Databaseの
ライセンス価格を**大幅に抑えて**
ご導入いただけます

多くのお客様でサーバー使用期間とされる
5年間にライセンス期間を限定

- 期間途中で永久ライセンスへ差額移行
- 5年後に新規ライセンスを購入し継続利用
- 5年後に新システムへデータを移行



Enterprise Editionはここが違う!!

- 圧倒的な**パフォーマンス**!
- データベース**管理がカンタン**!
- データベースを**止めなくていい**!
- もちろん**障害対策**も万全!

この機能でこの価格
ライセンスパック

- Oracle Databaseの機能を**存分に使える**!
- **2ノードRAC**構成も可能!
- サーバー構成によって計4種類のバックから**選べる**!

詳しくはコチラ

<http://www.oracle.co.jp/campaign/kurukuru/index.html>

Oracle Direct 0120-155-096 

お問い合わせフォーム

http://www.oracle.co.jp/inq_pl/INQUIRY/quest?rid=28

ORACLE

あなたにいちばん近いオラクル



Oracle Direct

まずはお問合せください

Oracle Direct

検索

システムの検討・構築から運用まで、ITプロジェクト全般の相談窓口としてご支援いたします。

システム構成やライセンス/購入方法などお気軽にお問い合わせ下さい。

Web問い合わせフォーム

専用お問い合わせフォームにてご相談内容を承ります。

http://www.oracle.co.jp/inq_pl/INQUIRY/quest?rid=28

※フォームの入力には、Oracle Direct Seminar申込時と同じ
ログインが必要となります。

※こちらから詳細確認のお電話を差し上げる場合がありますので、ご登録されている連絡先が最新のものになっているか、ご確認下さい。

フリーダイヤル

0120-155-096

※月曜～金曜 9:00～12:00、13:00～18:00

(祝日および年末年始除く)

ORACLE



以上の事項は、弊社の一般的な製品の方向性に関する概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。以下の事項は、マテリアルやコード、機能を提供することをコミットメント(確約)するものではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないで下さい。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、弊社の裁量により決定されます。

Oracle、PeopleSoft、JD Edwards、及びSiebelは、米国オラクル・コーポレーション及びその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標の可能性あります。